

報道関係者各位  
プレスリリース

2018年4月27日  
ソフトブレイン・フィールド株式会社

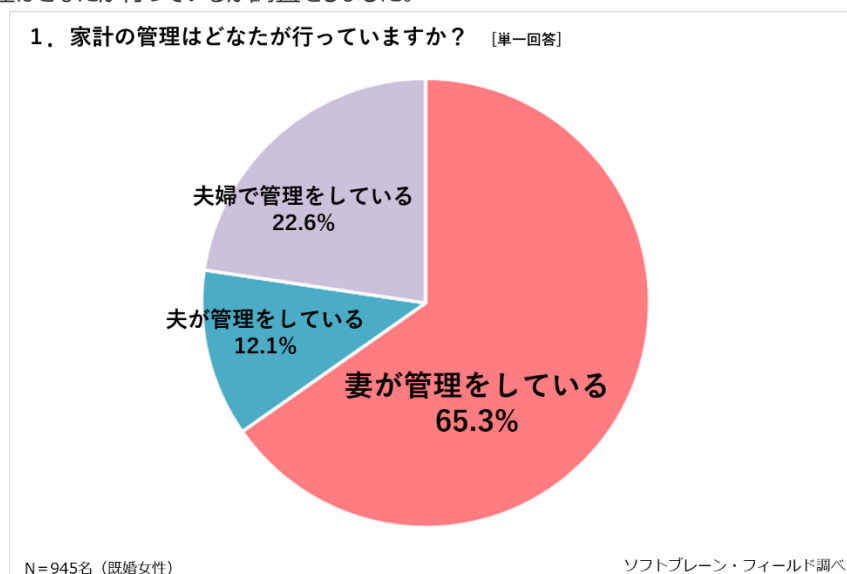
夫の年代が若いほど昨年より「年収が増える見込み」と回答、家計にゆとりを感じている世帯は約3割  
～《既婚女性》家計や夫・妻のお小遣いに関する調査報告～

[調査トピックス]

- ・約7割の世帯で妻が家計の管理をしている。
- ・ご主人の年収は、昨年度と比較して「増えると思う」が22.1%、「減ると思う」が16.3%、「変わらないと思う」が61.6%となり、ご主人の年代が若くなるにつれて、「増えると思う」傾向があり、20代では半数の方の回答があった。「増える」理由は、会社の業績アップや、資格取得による手当、「減ると思う」の理由は、残業代のカットが挙げられた。
- ・夫の1か月あたりのお小遣いについては、「お小遣い制ではない」が38.0%で前回調査（2015年6月）の31.6%を、6.4ポイント上回った。「お小遣い制」は62.0%で、金額は「30,001円～50,000円」が21.9%でもっとも多い。
- ・妻の1か月あたりお小遣いについては、「お小遣い制ではない」が63.0%で、「お小遣い制」は37.0%、金額は「10,001円～20,000円」が12.2%でもっとも多い。
- ・現在の家計の状況については、約3割の方が「ゆとりがある」と感じており、50代～60代の子育てがひと段落した世代が目立ち、約7割が「ゆとりがない」と感じており、30代～40代の子育て中の世代からの回答が多かった。

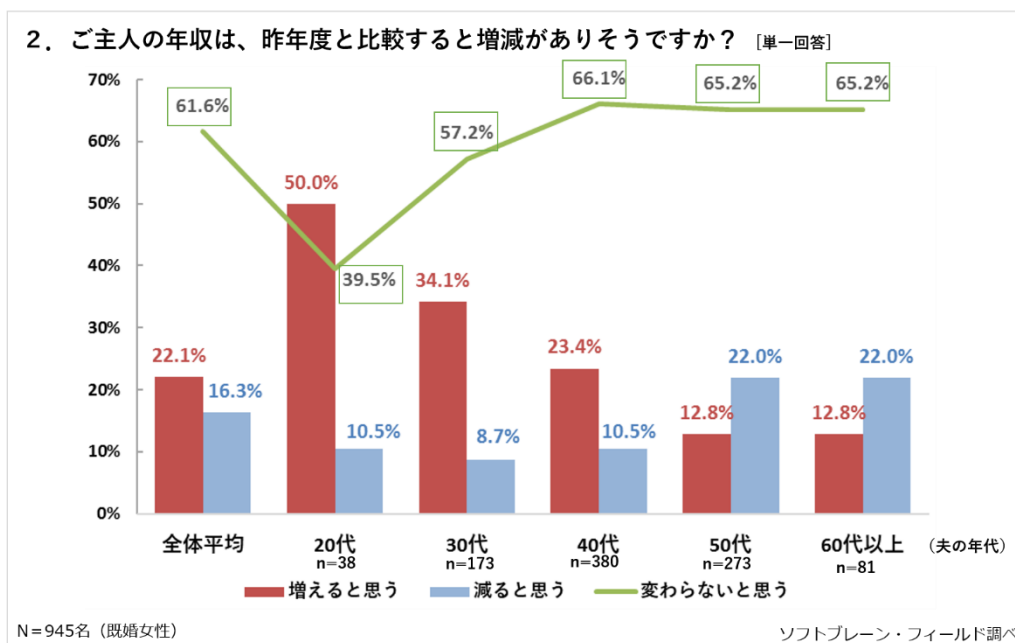
総務省が2018年4月6日に発表した2月の家計調査によると、勤労者（サラリーマン）世帯の1世帯あたりの消費支出は28万9177円となり、実質で前年同月比6.3%、2ヵ月ぶりに減少したそうです。フィールド・クラウドソーシング事業を展開するソフトブレイン・フィールド株式会社（本社東京都港区、代表取締役社長：木名瀬博）は、「家計や夫・妻のお小遣いについての調査」を2018年3月29日～4月8日に実施しました。アンケートの対象は、20代から60代の当社のキャスト会員で、（既婚女性・平均年齢45歳）、有効回答数は945名でした。（調査概要は、3ページに記載）

まずは、家計の管理はどなたが行っているか調査をしました。



家計の管理については、「妻が管理をしている」が65.3%で、約7割近くの世帯で、ご自身が管理をしていることがわかりました。次いで、「夫婦で管理をしている」が22.6%、「夫が管理をしている」が12.1%という結果になりました。

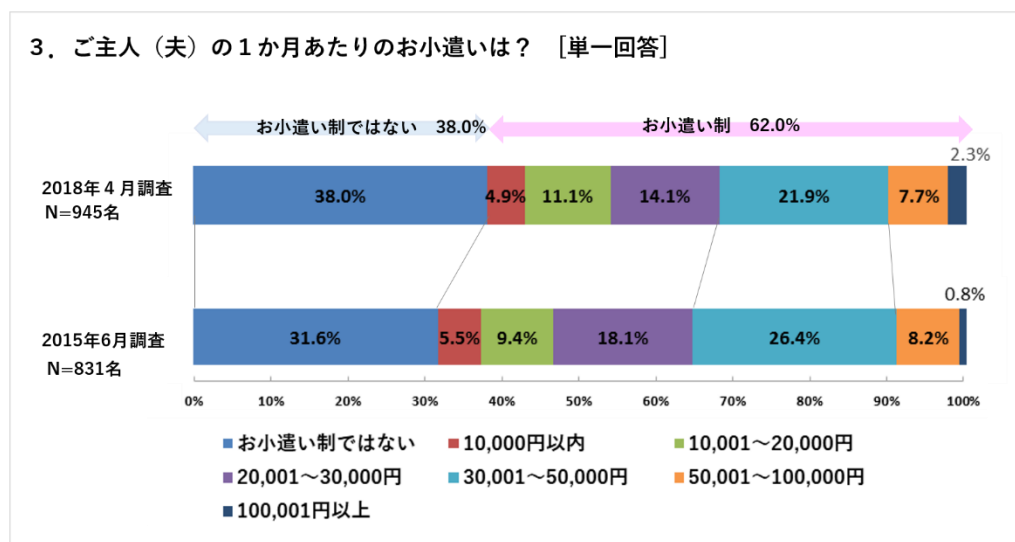
次に、昨年度と比較した場合のご主人の年収の増減や、ご夫婦のお小遣いについて調査をしました。



ご主人の年収の増減については、全体平均では、「変わらないと思う」が61.1%であり、「増えると思う」が22.1%、「減ると思う」が16.3%と続きました。ご主人の年代が若くなるにつれて「増えると思う」傾向があり、20代では半数からの回答がありました。

年収が増えると思う理由については、「業績アップの見込み（夫30代・製造業、他）」など会社の業績に関する事や、「仕事で使う資格を取得したから（夫40代・建設/不動産）」などの、資格手当などが挙げられました。一方で、減る理由としては、「会社の取り組みとして残業が減られている（夫30代・IT、他）」など、残業のカットによるものが多く挙げられ、他にも「仕事の単価が安くなっているから（夫50代・建設/不動産）」といった声もありました。

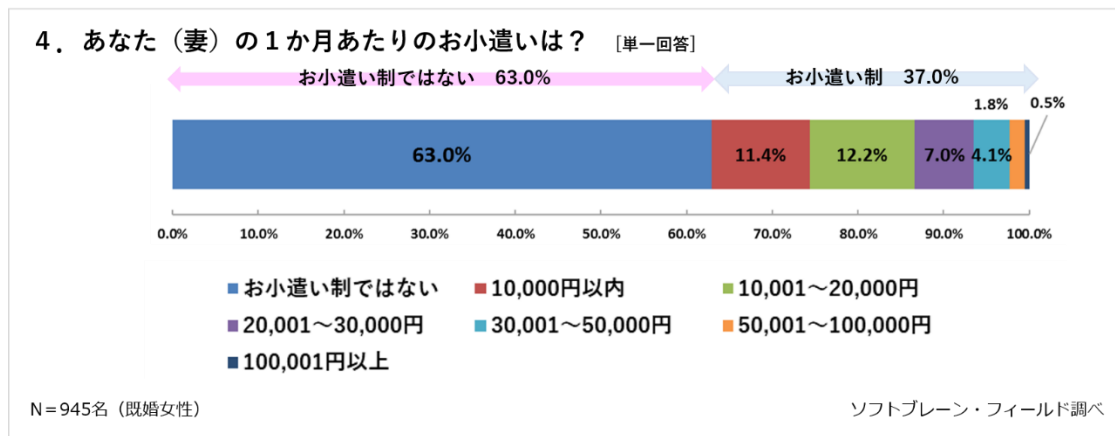
次に、1か月あたりのお小遣いについて、ご主人（夫）とご自身（妻）それぞれ調査をしました。



ご主人の1か月あたりのお小遣いについて、「お小遣い制ではない」方が38.0%で、前回調査時の（2015年6月）31.6%を、6.4ポイント上回りました。

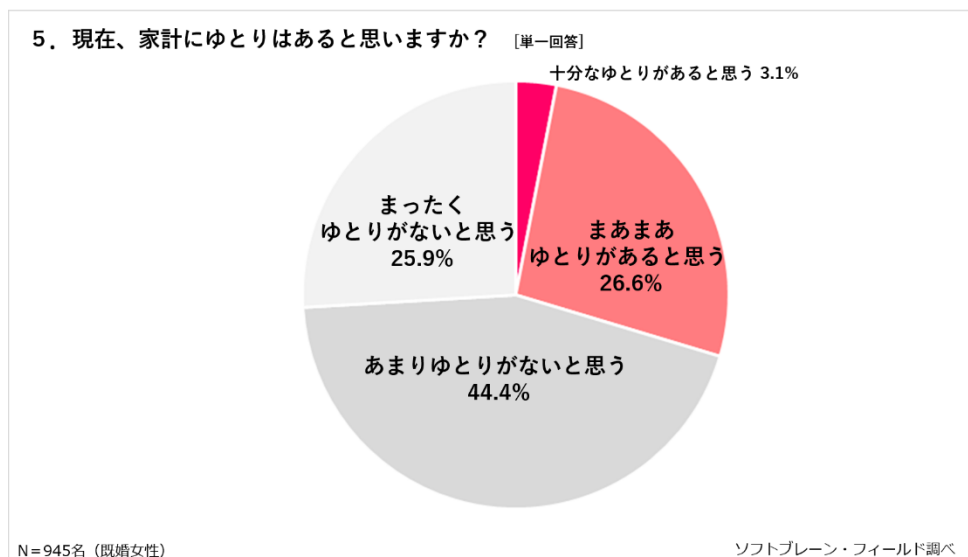
「お小遣い制」の方は、62.0%であり、金額は、「30,001円～50,000円」が21.9%でもっとも多く（前回調査26.4%/4.5ポイントダウン）、次いで「20,001円～30,000円」が14.1%（前回調査18.1%/4.0ポイントダウン）、「10,001円～20,000円」が、11.1%（前回調査9.4%/1.7ポイントダウン）という結果となりました。

次にご自身の（妻）のお小遣いについて調査をしました。



ご自身（妻）のお小遣いについては、「お小遣い制ではない」が63.0%で、「お小遣い制」が37.0%となり、金額は、「10,001円～20,000円」が12.2%でもっとも多く、次いで「10,000円以内」が11.4%、「20,001円～30,000円」が7.0%という結果となりました。

最後に、現在の家計の状況について調査をしました。



現在の家計の状況については、「十分なゆとりがあると思う」が3.1%、「まあまあゆとりがあると思う」が26.6%となり、約3割の方が「ゆとりがある」と感じおり、「子どもの教育費も目処が経っており、老後の貯蓄もできているから（妻50代・パート/子ども大学生）」や、「私の仕事が軌道に乗り、一定額の収入が見込めるようになったから（妻60代・当社紹介のお仕事/子ども社会人）」といった、50代～60代の子育てがひと段落した世代からの回答が目立ちました。

一方で、「あまりゆとりがないと思う」が44.4%、「まったくゆとりがないと思う」が25.9%となり、約7割が「ゆとりがない」と感じており、「子どもの進学や塾、習い事などの支出があるから（妻40代・パート/子ども高校生）」や、「子ども達の習い事、物価も上がっているから（妻30代・当社紹介のお仕事/子ども小学生）」といった、30代～40代の子育て世代からの回答が目立ちました。

【調査概要】

対象	当社にキャスト登録をしているアンケートモニター（既婚女性）					
調査方法	当社リサーチサイト「リサれば！」を活用したインターネットリサーチ					
調査地域	全国					
調査期間	2018年3月29日 ～ 2018年4月8日（11日間）					
回答者の属性	20代	30代	40代	50代	60代以上	総計(N)
女性	49	210	399	259	28	945
%	5.2%	22.2%	42.2%	27.4%	3.0%	平均年齢:45歳
夫の属性	38	173	380	273	81	945
%	4.0%	18.3%	40.2%	28.9%	8.6%	-

【当社にキャスト登録をご希望の方は】

・パソコン用登録URL : <https://www.sbfield.co.jp/pc/>

・携帯用登録URL : <https://www.sbfield.co.jp/m/>

会員登録いただくと、当社からお仕事情報を配信いたします。スーパーマーケットやドラッグストアなどの量販店、公共施設や遊戯施設、専門サービスを提供する全国チェーンのお店から飲食店まで、あなたの生活圏がそのままお仕事のフィールドとなります。

【ソフトブレン・フィールド株式会社 会社概要】

ソフトブレン・フィールド株式会社は、ソフトブレン株式会社（市場名：東証1部・4779、本社：東京都中央区、設立年月日：1992年6月17日、代表取締役社長：豊田浩文）のグループ会社として、全国の主婦を中心とした登録スタッフ約74,000名のネットワークを活用し、北海道から沖縄まで全国のドラッグストアやスーパー、コンビニ、専門店など140,000店舗以上をカバーし、営業支援（ラウンダー）や市場調査（ミステリーショッパー、店頭調査など）を実施しています。当社代表の木名瀬博は、2004年にアサヒビールの社内独立支援制度に応募し、合格第1号事業として独立しました。

「木名瀬 博のフィールド虎の巻」 URL : <https://www.sbfield.co.jp/toranomaki>

本社所在地 : 東京都港区赤坂3-5-2 サンヨー赤坂ビル5階

設立 : 2004年7月 / 資本金 : 151,499,329円

代表取締役社長 : 木名瀬 博 URL : <https://www.sbfield.co.jp/>

【報道関係お問い合わせ先】

ソフトブレン・フィールド株式会社

経営企画部

広報担当 坂本（さかもと）/石井（いしい）

TEL : 03-6328-3630 FAX : 03-6328-3631 MAIL: [press@sbfield.com](mailto:press@sbfield.com)

当社調査リリースに取材協力していただける企業を募集しています。くわしくは、[press@sbfield.com](mailto:press@sbfield.com) よりお気軽にお問い合わせください。